

農業委員会だより

土岐市の農業

題字 土岐市長 加藤 淳司



発行/編集 土岐市農業委員会

農業委員会の

業務について

土岐市においては、農業委員会は定数十四人、農地最適化推進委員は三人で構成されていますが、令和二年七月末で現在の委員の任期が満了となります。

従前の農業委員会は、農地法三、四、五条の許可可と農地利用集積計画の決定等が法令に基づく業務でしたが、平成二十八年四月一日に施行された改正農業委員会法において、「農地等の利用の最適化」、すなわち「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新規参入の促進」が新たに農業委員会の業務として明記されました。農業委員会の権限と責任及び業務が強化されたといえます。

令和二年度に進める「人・農地プランの実質化」の柱である①アンケートの実施、②現状把握、③農地集約の将来方針の作成において、農業委員会から農業従事者の方や農地所有の方にお手数を掛けることになりませんが、ご協力をよろしく願います。

◆ 農業委員会活動日誌 ◆

令和元年

- 11/26 農地転用現地調査
- 11/29 第11回農業委員会総会
- 12/24 農地転用現地調査
- 12/27 第12回農業委員会総会

令和2年

- 1/28 農地転用現地調査
- 1/31 第1回農業委員会総会
- 2/25 農地転用現地調査
- 2/28 第2回農業委員会総会
- 3/4 普及活動発表会
(新型コロナウイルスのため中止)
- 3/24 農地転用現地調査
- 3/27 第3回農業委員会総会
- 4/21 農地転用現地調査(予定)
- 4/24 第4回農業委員会総会(予定)

土岐市内の農業の状況

毎年、市において刊行している「土岐市統計書」から、農業に関するものを抜粋しました。

■市内農家数(戸)

492(うち専業31 兼業71 自家消費390)

■町別農家数(戸)

土岐津15 下石15 妻木50 鶴里127
曾木84 駄知3 肥田126 泉72

■作付面積(a)

水稲2,623 ばれいしょ4 トマト35 きゅうり8
なす8 はくさい15 たまねぎ9 だいこん15
さといも8 など

■農地転用の状況(平成30年)

91件 6167-ル

出典：平成30年版「土岐市統計書」

●ご存知ですか？農地の売買や転用には、許可が必要です。

農地を耕作するために貸借・売買する場合は「利用権設定」「農地法3条の許可」、農地を宅地等に転用したり、転用するために所有権移転等する場合は、「農地法4条または5条の許可」が必要です。

農業委員の 雑記・雑感

地球環境に左右される農業

水野 博晴

肥田町の農地利用最適化推進委員の水野です。

先日のニュースで、夏の南極の気温が20℃を記録したとの報道がありました。本来、南極の夏の平均気温はマイナス10℃だそうです。これほどの高温のため、南極の氷が融け、アルプスの氷河も融け出し、イタリヤのベネチアでは洪水に見舞われ、大変なことになっていくようです。

ひるがえって、この冬の日本の野菜の収穫は、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリーなど好調のようですが、農業従事者にとっては、いわゆる「豊作貧乏」になってしまっています。一方、米作では北海道の「ゆめぴりか」が、ブランド米首位に上がってきました。近い将来、日本の水稲は北海道が一大産地となるのではないかと思います。その反面、これも北海道の余市では、暖冬による雪不足のため、ブ

ドウの木の越冬ができるかどうか、凍害がでるかどうか、春にならないとわからないとのことで大変心配です(注：積雪が少ないとブドウの木が直に寒さにさらされるため、実がつかなくなる)。

先日見た映画「七人の侍」の中でも、「まったくどうも、ばかな話でな。百姓は、雨が降っても、日が照っても、風が吹いても心配ばかり。」と役者に言わせる場面があります。農業とは、微妙な地球環境の上に成り立っています。



農地調査

田中 成典

泉町担当の農業委員の田中です。平成二十七年の農業委員の就任以来、毎年九月中旬から農地の現地調査を行っています。

農地調査とは、耕作が現在もされているのか、休耕地であった場合は草刈り等が適切に行われているか、耕作放棄地になっているかどうか、宅地になっていないかどうか等を、地図上に色塗りをしていきます。泉町内は、もう一人の澤田委員と分担して、二人の農業委員で五日間ほどかけて調査を行います

泉町内においても、稲作や野菜を作っている農家は高齢化のためか年々減少しており、シートなどを被せて雑草の生えるのを抑えるなどの手当てをしている耕作地がある一方、放置されて草が伸び放題となり、荒地になってしまっていて、近隣の住民から何とかならないかとの相談を受けることも度々あります。近隣の方に迷惑にならないよう、シートを被せるか草刈をして管理していただきたいものです。



また、耕作地よりも宅地や太陽光発電設備の設置などへ変更する農地転用の申請が多くなり、それに伴い農地が減ってきていることを寂しく感じます。

原木シイタケ

長江 宮夫

鶴里町担当の農業委員の長江です。

農業委員として、これで二期六年目を迎えておりますが、人・農地プランの実質化はもとより、地域農業の将来を考える時期が来ています。

この先、五年から十年後の農業を担う人に関する方針を定めることができるように、一緒に頑張って積極的に取り組んでいきましょう。

さて、私は鶴里生産森林組合の理事の仕事承っておりますが、その関係もあって、原木シイタケの栽培をして約十年経ちました。

しいたけ菌の一般的な性質として、●成長可能な温度は5〜32℃ ●適温は15〜16℃ ●5℃以下の低温でも適応可能だが、32℃以上の高温には弱い

などの性質があります。また、菌糸の成長やキノコの発生のため

には適度な水分も必要です。晩秋、ほだ場の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生が多くなります。冬から春にかけて、ほだ場の最高気温が10℃以上の日が続くようになると発生量が増えてきます。傘は円形で丸山形、肉厚で柄の太いものが最高です。

コマ菌（水分調整した木片（駒）にした）の発生最盛期は二年ほど、形成菌（オガ菌を駒状に固めてシイタケの菌糸を培養したもの）の場合は一年程度ですが、全国各地にシイタケ菌を扱う業者はあります。いずれにしても一年、一年、毎年勉強しながらの栽培です。

なお、鶴里生産森林組合では、濃南小学校六年生の児童さんの児童会活動で、シイタケの菌打ちの校外学習を一緒に行っています。



担い手不足

日比野 壽郎

曾木町の農業委員の日比野です。平成二十六年八月に農業委員に選任されて、早や六年が過ぎました。過ぎ去れば早いものだなあ、と思っているところです。

今年七月末以降の後任にも、きちんと引継ぎが出来るよう、頑張っております。改めて宜しくお願いたします。

さて、私も曾木町では、二年ほど前から再度ほ場整備をして、稲作のしやすい環境を整えるという話しが持ち上がっており、鋭意その計画が進んでいると聞いております。ご多分に漏れず、曾木町も毎年高齢化が進み、耕作放棄地が増えていて、蘭仙という地域では耕作されているほ場は一ヶ所もない状態です。

このような状況の中、地元の営農組合「曾良の里」も、旧JA陶都曾木店の店舗、倉庫等を譲り受け、組合の事務所として、また、機械の倉庫として充実させ、増々発展させ、曾木町の米作りに頑張っているところなんです。

現在、「曾良の里」には、役員を含めて六人ほどで頑張っている。

いていますが、いくら機械が有るといっても、毎年増え続ける耕作面積の米作りをしていくには、担い手不足になってくるのが懸念され、大変心配しております。

定年退職され、まだまだ体力に自信のある方に、少しでもお手伝いしていただけることを願って止みません。



これまでの体験を通じて

安藤 喜久夫

下石町担当の農業委員の安藤です。

私ごとではありますが、これまで四十五年、農事改良組合員の役

員を承ってきました。改良組合の役員と市の農林課の職員、農業指導員とで、年に五・六回程度、地域の農地の状況確認をしたり、会議において農業のあり方を教えてもらったりと、いろいろ勉強になり、ありがとうございます。

また、農業共済の役員も十二年間務めてまいりましたが、皆さま方にご支援ご協力をいただきありがとうございます。この場をお借りして、お礼申し上げます。

最近、特に印象に残ることは、小学校での稲作の体験学習を十二年間してきたことです。田植えや脱穀の体験を通じ、お米のありがたさをわかってもらえたら、と思ってお手伝いさせていただきました。また、戦争時代の語り部として、これまで九年間、講師として招かれ、話しをしてきました。

ちなみに農業委員は、三期九年となりました。こちらも皆さま方にご支援ご協力をいただいたことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。



里山の風景

土岐 直哉

曾木町担当の農業委員の土岐です。

耕作放棄地が増え、山林が手入れされなくなっているのは、里山の大きな問題です。私が住む濃南地域にも、もちろんこういった問題があります。そして、近年、里山の風景を大きく変えているのは、太陽光発電のパネルです。耕作放棄地や山林が、次々と太陽光発電のパネルに変わってきています。

私は、里山の魅力が失われていくのがとても残念ではありません。田畑に川に山、便利さは無いけれど、心が洗われる風景が身近にあります。一人一人が里山の風景を大切に思い、残していこうという思いが、将来、大きな財産になると、私は、思います。

全国の農地情報がインターネットでみられます。

農業委員会が整備している農地台帳及び農地に関する地図の情報について、農地法に基づきインターネット上で公表しています。

【全国農地ナビ <https://www.ais-ac.jp/>】

農地の管理をお願いします。

荒れている農地については、農業委員会から、農地法に基づき今後の利用を促す通知をさせていただきます。草刈り等がされていないと、近隣の農作業に支障が出てしまうことがありますので、農地の適切な管理へのご協力をお願いします。

どうしても管理が難しい農地については、農地中間管理機構への登録や、農業者への斡旋など、農業委員会でご相談を承っていますのでお問合せ下さい。

農地中間管理事業を活用しよう。

- 農地を借りたい人 「借受希望者の募集」に応募
- 農地を貸したい人 原則十年以上の貸付となります。
- メリット

農地中間管理機構を通じて農地の貸借をすることで、借り手は農地の集積・集約化ができ、貸し手は機構集積協力金や固定資産税の軽減の対象になります。(交付要件等有)

令和2年度

農林水産関係予算要求の概要

総額は2兆7,307億円と前年度比を4,199億円(18.2%)増とし、「人・農地プランの実質化」と農地中間管理機構等による担い手への農地集積・集約化の加速化201億円(31億円増)、水田活用の直接支払交付金3,215億円(同額)等を措置。

(単位 億円)	2年度予算額
総額	27,307
(前年比)	(118.2%)
公共	8,436
(前年比)	(121.1%)
非公共	18,871
(前年比)	(116.9%)

県内一組合化へ ~岐阜県農業共済組合~

これまで岐阜県下5組合の体制だった農業共済組合が合併し、令和2年4月からあらたに岐阜県農業共済組合として発足します。岐阜県農業共済組合及び東濃支所の連絡先は下記のとおりです。

岐阜県農業共済組合本所：〒501-6132 岐阜市次木 348 番地の1
 電話058-270-0081(代表)

岐阜県農業共済組合東濃支所：〒509-7201 恵那市大井町 1008 番地の1
 電話0573-25-8805(代表)

(この紙面のお問い合わせ先)
土岐市農業委員会事務局
TEL: (0572) 54-1111